No. 274

大学別・難関大 ULTIMATE CHEAT SHEET

早稲田大学 国際教養学部(SILS)英語攻略チートシート

Reading 90分+Writing 60分の計150分。段落要旨・FOUR型・下線語の3型と、意見・グラフ・日本語要約の3タスクを型で仕上げる。

Web版はこちら

ここだけ3行

1 段落要旨は15本すべてに出た。段落ごとに筆者の動作を動詞1語でメモ

2 日本語要約は翻訳ではない。中心と周辺を分け、論旨に不要な例は落とす

3 Writingは1タスク18分で切る。1つ白紙で3分の1を失う

◆ 形式マップ(2022〜2026年度)

共テ100点+独自英語80点+英語4技能テスト20点=200点。英語は実質100点(50%)。

パート	中身	設問・特徴
Reading 90分	英文3本(各918〜1,344語、平均約1,154語)	段落要旨(15本すべて)/FOUR型内容一致(14本)/下線語(12本)
Writing W1	意見英作文	身近な社会的論点に1パラグラフで立場と理由
Writing W2	グラフ・図表	傾向を読み取り理由を添える。2図の比較の年も
Writing W3	日本語要約	英文を日本語で要約(解答例は約200字)。5年連続

制度の確認ポイント

2026年度から共テの必須科目が「国語のみ」→「国語または数学」に変わり、選択科目に公民が加わった。外国語(R90分・W60分・80点)は変更なし。英語4技能テストは未提出でも出願できるが0点。GTEC は CBT で最大20点、検定版 Advanced で14点、Basic で7点と上限が違う。対象テストや基準は変わりうるので、出願前に必ずその年度の入試要項で確認する。

◆ Readingの3つの型 4

☐ **1 段落要旨型(最頻出)**

In paragraph ① the writer ＿＿＿ のように筆者の動作(動詞)を選ぶ形が多く、選択肢は段落数より多い。内容が合っても動作が違えば不正解。段落の内容を表す節を選ぶ形の年もある。最大の得点源。

☐ **2 FOUR型内容一致**

15回中11回が do NOT AGREE、3回が AGREE、1回だけ TWO。同じ年の別の英文で向きが変わることもある。8〜10個から消去法:言い過ぎ/本文にない/すり替え。

☐ **3 下線語型**

Here ○○ means の5択。ascendancy に ancestor や climb を並べるなど、綴り・語源の連想で外させる。準1級〜1級の語を英語の言い換えで覚える(supersede=replace など)。

☐ **4 変化球にも動じない**

語彙補充(リストから選ぶ)や空所補充が下線語の代わりに出た年がある。問う力は同じ「文脈に合う語」。

◆ 段落要旨で使われる「筆者の動作」動詞 12

読みながら余白に1語。動詞で大まかに絞り、必ず段落の中身と照合する。

動詞	意味	見分け方
☐ **describes**	描写する	様子・特徴を述べるだけ
☐ **recounts**	(出来事を)語る	時系列の話・経緯
☐ **traces**	(経緯を)たどる	歴史・発展を追う
☐ **illustrates**	例で示す	具体例が中心の段落
☐ **claims / argues**	主張する/論じる	筆者の意見が出ている
☐ **contends**	(根拠を示して強く)主張する	反対意見を意識した文脈が多い
☐ **points out**	指摘する	見落とされがちな点を示す
☐ **contrasts**	対比する	A と B の違いが軸
☐ **concedes**	(譲歩して)認める	後で but / however と主張に戻ることが多い
☐ **qualifies**	条件をつけて限定する	主張の範囲を狭める
☐ **questions / challenges**	疑問を呈する/異議を唱える	通説への反論
☐ **speculates**	推測する	may / might が多い

◆ Writing 3タスクの攻略法 4

☐ **1 W1 意見英作文**

テーマは専門知識不要(ドッジボール、ボランティア義務化、大学教育の目的など)。立場を1文→理由の数を予告→First / Second / Third→まとめ。1パラグラフで書く。

> I am of the opinion that every student should learn to cook.
> 私はすべての生徒が料理を学ぶべきだという意見だ。

☐ **2 W2 グラフ・図表**

重要な傾向・比較を正確に示すのが先。妥当な理由が言えれば短く補う。

> This may be mainly because more people now work from home.
> これは主に、在宅で働く人が増えたためだろう。

☐ **3 W3 日本語要約**

大学は「中心的な情報と周辺的な情報を区別する力」を測り、翻訳ではなく要約を求めると明示。論旨に不要な具体例・人名・数字は落とし、主張や因果に欠かせないものは残す。

☐ **4 共通の作法**

解答例はどれも平易な英語。凝った構文は不要。時間切れでも白紙にせず、立場を1文でも書く。

◆ W1・W2の決まり文句 6

解答例に通じる平易な型。1パラグラフにまとめる。

☐ **I have three reasons for saying so.** ★★★ … そう言う理由は3つある
理由の数を予告して First / Second / Third へ

☐ **While I acknowledge that ＿＿＿, I believe ＿＿＿.** ★★★ … 〜は認めるが、私は〜と考える
譲歩から入る型。反対意見に触れると論が厚くなる

☐ **Some people may argue that ＿＿＿. However, ＿＿＿.** ★★☆ … 〜と主張する人もいるだろう。しかし〜
反論→再反論の定番

☐ **This graph shows two important trends.** ★★★ … このグラフは2つの重要な傾向を示している
W2の書き出し。傾向を2つ拾う

☐ **The gap between A and B widened.** ★★☆ … AとBの差が広がった
縮んだなら narrowed

☐ **One possible explanation is that ＿＿＿.** ★★☆ … 考えられる説明の1つは～だ
理由の推測。断定しすぎない

◆ 日本語要約の手順（15分版） 4

① **0～5分：段落ごとに1行メモ**
定義／背景／問題提起／根拠／反論／結論。訳さず「何の話か」だけ。

② **5～7分：骨格を決める**
主張を1文で言えるか、支える柱は何本か。落とす物（論旨に不要な例・人名・数字）と残す物（対比の軸・因果）を決める。

③ **7～13分：書く**
1文60字以内。英語の語順に引きずられない。「～と述べている」で筆者の主張だと示す。

④ **13～15分：見直し**
例を書きすぎていないか、訳文になっていないか、本文にない自分の意見を足していないか。

◆ 150分の時間配分

パート	時間	やること
Reading	0～2分	3本の長さと設問数を見て順番を決める
Reading	1本約28分×3	選択肢の動詞を縦読み→通読しつつ動詞メモ→段落要旨→下線語→FOUR型
Reading	85～90分	内容一致は指定の個数（FOUR／TWO）をマーク、段落要旨で記号の重複なし
Writing	W1・W2 各18分	立場・傾向を決めるのに2～3分
Writing	W3 19分＋見直し5分	英作文に不安なら W3 を先にしてもよい

◆ 2027年度に向けての注意（記事の予想） 5

☐ **1 予想：構成は不変**
Reading 3本＋Writing 3タスク。2026年度の制度変更でも外国語は変更なしと明記されたため、続くと記事は予想（確度：極めて高い）。

☐ **2 予想：段落要旨・日本語要約は継続**
段落要旨は15本皆勤、日本語要約は5年連続で、大学が出題目的を明示している。

☐ **3 予想：出典は学術書＋良質な雑誌**
ミル『自由論』、カンデル、ハッチオンなどの学術書に The Atlantic・TIME・BBC Future が混ざる。フラクタルや神経科学など文理の区別なし。

☐ **4 予想：W1は身近な論点**
高校生が意見を持てるテーマが続くと予想。立場→理由2～3つの型を固めておく。

☐ **5 関連シート**
難単語は『早稲田の過去問に出た英単語BEST100』『早稲田に出る英単語ズバリ予想60』で。**最新の過去問と入試要項**で形式を確認する。

◆ 確認テスト

1 段落が昔の発明の経緯を時系列で語っている。動詞メモは ＿＿＿ 。
a recounts　b questions　c concedes　d claims

2 “It is true that…, but…” の段落の筆者の動作は ＿＿＿ 。
a concedes　b defines　c describes　d traces

3 The new model ＿＿＿ the old one, which is no longer sold.
a supported　b suppressed　c supervised　d superseded

4 日本語要約で原則として落とすのは ＿＿＿ 。
a 論旨に不要な具体例　b 筆者の主張　c 対比の軸　d 因果関係

5 FOUR型の設問文で必ず丸をつけるのは個数と ＿＿＿ 。
a 出典　b 段落番号　c NOT か AGREE か　d 語数

6 Her quiet ＿＿＿ of the unfair rule inspired others.
a insistence　b defiance　c ignorance　d defeat

◆ 解答

1 recounts 出来事を語る＝recounts
2 concedes 譲歩して認める
3 superseded supersede＝replace
4 論旨に不要な具体例 中心と周辺を分ける
5 NOT か AGREE か 15回中11回が NOT AGREE
6 defiance defiance＝open resistance（公然の反抗）

参考資料 原田英語｜早稲田大学国際教養（SILS）英語徹底研究 過去5年分析＆2027年度 超絶入試予想（Reading90分＋Writing60分）／原田英語｜早稲田大学学部別英語入試難易度・形式マップ

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）